

IT化は「在宅介護」でも進んでいる！

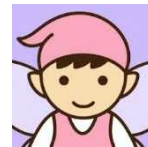
山形発！ 在宅版見守りシステム まもる～のHOME



株式会社 つるかめ



岡崎医療株式会社



株式会社まもる一の



総合警備保障株式会社

高齢者介護の問題に向き合う 「まもる～のHOME」

1 一人暮らし、高齢世帯の増加

何かあったらどうするという不安...



一人暮らし

2 離れて暮らす親の生活が見えない

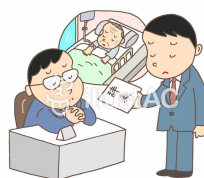
昼と夜の生活が逆転していることも...



昼夜逆転

3 介護離職という現実

親の介護で仕事を辞めなくては...



介護離職

そんな家族が抱える問題と向き合い、開発したのが
在宅版見守りシステム「まもる～のHOME」です！

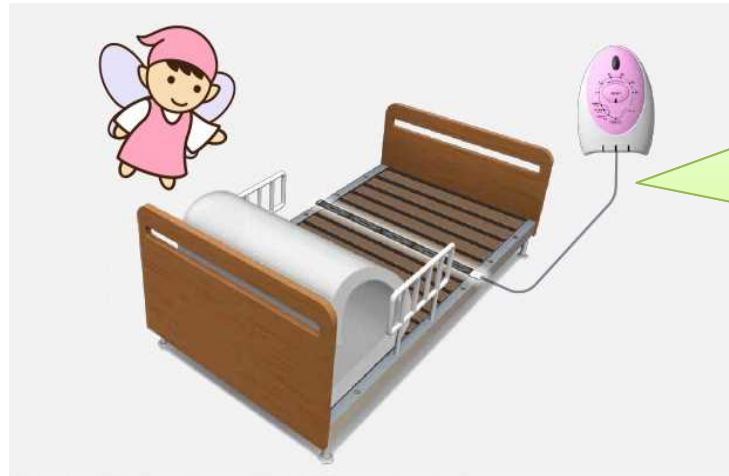
「まもる～のHOME」はこんな家族の不安や心配に対応できます

特
徴

- ① 離れて暮らすご家族の生活の様子が知りたい...
- ② 夜、仕事が遅くなってもご家族の様子を知りたい...
- ③ でも、監視するようでカメラは設置したくない
- ④ 夏の暑い日などの部屋の温度が心配...

さらに、睡眠状態が把握できることから生活リズムづくりや認知症の予防・改善に役立ちます！

「まもる～のHOME」のイメージ



ベッドに高感度エアバッグセンサーを設置、各種環境センサーを備えた本体からWiFiでインターネットに情報を送り**ご家族のスマートフォン、PC等**でご確認いただけます。

- ・体に何かを取り付ける必要がなく、全く**使用感がありません**
- ・カメラタイプではないため、**お客様のプライバシー**が守られます
- ・機器の**設置や移動がとても簡単**です

ご家族の状態



お知らせを
タイムリーに送信！



送信されてきたお知らせに対して…

スマートフォンに入るお知らせの内容

＜通常のお知らせ＞
起床された時間・入眠された時間
離床された時間

異常がない
ことを確認



ほっと
一安心…

＜異常時のお知らせ＞
居室温度の高温・低温
睡眠時の呼吸数・脈拍の異常
夜間離床が3回以上みられた場合
起床時間遅い



ご家族の様子が
ポケットに！



対応が必
要だわ！

その場に直行できない場合

警備保障会社に連絡して駆け付け確認ができる。または、近隣の方などに電話で様子の確認をお願いします。

- 1 ALSOK（別途契約）
- 2 近所に住む方
- 3 地区の民生委員
- 4 利用している介護施設 等



スマホ画面に映し出される情報

イメージ

確認の操作は
簡単です



情報はパスワードで
管理されており、
セキュリティは万全！
情報は医療介護関係者
にもシェアが可能！

お客様概況の表示



- ① 起きているのか、睡眠中なのかがわかります
- ② 睡眠中の脈拍・呼吸数の状態がわかります
- ③ 部屋の温度によって暑い、寒いがわかります
(熱中症予防にも！)

睡眠・身体状況、居室環境の表示

睡眠の深度や身体状況、居室環境等をさらに詳しくお伝えします

- ① お客様に関するお知らせがわかります
- ② 1日の睡眠時間や入眠、起床時間がわかります
- ③ 睡眠に関する深度（深い眠り・浅い眠り）や夜間離床がわかります
- ④ 身体状況（脈拍・呼吸数）、お部屋の環境が詳しくわかります

介護事業所での活用の成果と今後の地域活用例

1) 小規模多機能いこいのつるかめの活用事例

ケアステーション モニター画面



自宅での様子を毎日モニターを使ってチェックし、**訪問時のケア**に役立っています！離れて暮らす家族もスマホで見守りができるので喜ばれています。



2) 地域での活用例

地域の民生委員の方が、見守りが必要な独居高齢者などの一元見守りも可能になります。

これにより、民生委員の負担軽減につながり、必要な時に必要な人への訪問と、定期的な訪問だけでプライバシーを十分確保しながら見守るシステムができることを期待しています。

民生委員の負担軽減となりて不足の解消に期待ができます

活用事例 その1 (ケアサービスの見直し)

日中の在床時間が非常に長いお客様の例

過去半月分をまとめたデータを取り出すこともできます

睡眠グラフ (過去半月分の記録)

このままの生活リズムが続けば、身体機能・認知機能が低下していくおそれがある…



そこで…



具体的な対応をチームで協議する



課題解決に向けたケアの実践例

- ① 「通い」の際のリハビリ・アクティビティを工夫
- ② 「泊り」の際に日中の活動メニューを増やして生活リズムを整える
- ③ 自宅の居室環境 (温度・湿度) への介入

現場の介護が進化します！

活用事例 その2（医療との連携）

データから状況を調査し、チームで対応を協議する



課題解決に向けたケアの実践例

お客様の膀胱の疾患や睡眠障害が心配される場合、データをもとに、主治医に情報提供を行うことで医療的にアプローチしていく

**医療と連携した、
よりきめ細やかな介護が実現します！**